

## CHANGE THE GAME. ミッションに込められた想い、野原グループの歴史・現在・未来とは ～原点を振り返り、新たな未来をつくる～



■野原グループ CEO 野原弘輔（左）と株式会社ペンフォーター 代表取締役 鈴木聡史 氏  
※撮影時のみマスクを外しています

野原グループは、1598(慶長3)年に綿問屋として始まりました。時代のニーズを先取りして業態転換することにより、今は建設業で人々の[住]を支え、420年超の歴史を紡いでいます。建設業は世の中になくなくてはならない産業ですが、常にCO2を排出しています。私たちは、**社会・地球環境と調和しながら人々の健康と快適な暮らしを実現する、次の時代の建設産業をつくりたい**と考えています。

“現状に甘んじず、自らが建設産業の仕組みやルール、社会を楽しみながら変えていく。”  
そんな、将来に向けた強い志を宣言したのが、新ミッション「[CHANGE THE GAME.クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう](#)」(2020年8月発表)です。

本号では、ミッション策定で野原グループの歴史・現在・未来を共に見つめてくださったコピーライター 鈴木聡史氏に、改めて当時の印象等を伺いました。

### <鈴木 聡史氏 プロフィール>

大手広告代理店に約10年在籍後、独立。現在は、株式会社ペンフォーターの代表取締役を務める。  
コピーライター、クリエイティブディレクターとしてご活躍中。

## 時代の一步先の変化をつくりだすために

### -野原の第一印象は？



歴史や伝統がある会社なので、非常に本質を追求する会社なのだろうな、という半面、静かで、保守的な印象でした。一般的に建設業界は、勢いがあるってガツガツしたイメージでしたが、野原の場合は品格やスマートさも感じました。



私が入社した 15 年前の野原は、もっと硬直的で、画一的、建設業界っぽいイメージでした。社長就任から 3 年弱。タウンホールミーティングなど、社内でもさまざまな活動を続けているので、少しずつ変化していったのかもしれませんが。

#### –社員へのヒアリングで感じたことは？



野原ブランドを愛し、熱い思いを持つ方々が大勢いることに驚かされました。野原 DNA を知るベテランと、野原を客観視し「具体的にこうしていきたい」と外から新しく入ったスペシャリストと、それぞれが野原を良くしたい、と考えていると感じました。

#### –ミッションは、野原の過去・現在・未来がギュッと凝縮されていますね。



野原には、歴史もあり、さまざまな考え方をもった社員がいます。多くの社員が納得できるよう、歴史を紐とぎ、「どこに野原 DNA があるのか。DNA を言語化し、時代がこう変わってきているから野原 DNA を活かして、**一步先の変化を創る**ためにこれを目指すのだ。」と過去・現在・未来がつながるストーリーを意識しました。



私は、**みんなの熱い思いを正しく同じ方向に持っていける環境にしたい**、ミッションを行動や意思決定の軸にしたい、と考えていました。10 年近く追いかけてきたビジネスの理想像が、ここ数年でやるべきこととして明確になりました。そこに注力していくためにも、わかりやすく社内外に伝えられるミッションが重要だと考えていました。

#### –野原グループのミッションの特長は？



ミッションは社会における会社の存在理由です。「CHANGE THE GAME.」と、世の中に強く宣言し、「建設業界をアップデートする」で、社会課題の解決に貢献するとのメッセージを伝えています。さらに、ビジョン（中長期計画）が明確です。**ミッション・ビジョン・バリュー（組織共通の価値観）がしっかり連携した、成功例の一つだ**と思います。



ありがとうございます。私には、「変えられるのではなく、自分たちが変えていく」という強い思いがあります。「CHANGE THE GAME.」は、**GAME(仕事、競争)をするうえで、従来の当たり前（ルール、常識）を変える側に立つ決意表明**です。

#### –今後の期待は？



私は、今まで様々な業界と関わってきましたが、どの業界も同じで、自分の目の前の仕事をやっていけば会社がどうにかしてくれるという考え方は絶対にダメ。今後は**変化し続けた企業しか残らない**と思います。野原には、柔軟な「**変化対応**」とその先の「**創意工夫**」という素晴らしい DNA や能力がたくさんあります。だからこそお客様のパートナーになる力が強い。その文化をうまく活かして、一人ひとりが変わっていきながら、建設業界をアップデートしていただきたいです。ぜひ、野原の皆さんには、楽しみながら歩んでほしいです。



いろいろなモノが複雑に絡み合い、変化が早いのが今の時代の特徴です。しっかりと時間やエネルギーをかけないと、追いかけていけない。仕事においても、先にある目的や意味を考えて動く必要があります。すばり、「**自立**」がキーワード。一人ひとりが自立した強い個人になり、その**強い個人同士が信頼関係で結ばれていることが理想**です。私たちは、**自分を、周りを信じて進む時**だと思います。

(インタビュー 終)

## 「すべての人と幸せをシェアする、次の NOHARA とは？」 仲間が心をひとつにして取り組む先に、新たな未来が見えてきます。

ミッションの理解・浸透・実現に向けた様々な活動の一部を写真でご紹介します。



■左:ミッションのポスター、右:社内 SNS にアップされたポスタージャックの様子



■伝道師フォーラム（2021年1～3月）  
野原グループの各事業会社は、事業、規模など多岐にわたります。各社の個性を活かしながら、ミッションの意味や理解を社内に広め、その浸透を先導するために、伝道師となっている社員が複数名います。

伝道師フォーラムは、伝道師自身がミッションについての理解を深め、自分なりの考えを巡らせるヒントを得る機会として、事業会社横断で複数回開催しました。



■職場別のワークショップ（2021年4月～）  
伝道師が進行役となり、読み合わせを中心としたワークショップを開催しています。「声に出して読むことで、理解が深まる」、「日中、忙しくてNohara's way やトップメッセージをじっくり読む機会がないので、時間をかけて読む試みはよかった」、「まだ何となくしかわからない」等、様々な感想が寄せられています。



(ノハラスチール：埼玉工場)



(キヤル：自ら考え行動し、組織と事業の成長を目指しています。)



(野原産業セメント)



(日東紡マテリアル)



(野原住環境)



(野原産業エンジニアリング)

## 野原グループについて

私たちは、2020年8月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。 <https://nohara-inc.co.jp>

### 【発行元】

野原ホールディングス株式会社

社長室(担当：齋藤) / e-mail : [nhrpreso@nohara-inc.co.jp](mailto:nhrpreso@nohara-inc.co.jp)